木之本ライオンズクラブ情報

第 98 号

題 字
昭和41年5月 滋賀県知事 故 谷口久次郎殿

七本桜

平成11年8月17日発行
木之本ライオンズクラブ
情報・広報委員会
発行所
滋賀県伊香郡木之本町木之本
伊香郡民会館2Fクラブ事務局
TEL.木之本(0749)82－5425

貴重な体験の一年間

幹事 L 三國 宏

本年度幹事に御指名いただき、この大役が私で務まるか、その責任の重さを痛感し、心配の毎日でありました。最初の会議が三役セミナーであり、京都で開催され、それからは、新旧幹事会を始めガバナー諮問委員会、他クラブへの訪問と次から次へ会議が続き大変だなと考える時期も多々ありましたが、幸いにも経験豊かな柴田会長や会計の小高さんに助けられ、微力ながら私なりに一生懸命努めさせて頂き、何とか無事任務を終えようと致しております。

一年間を振り返ると、忙しい中にも楽しい会議、各クラブ三役、地区委員長、ゾーンチェアマンとの出会いがあり、各会議には田中達雄ライオンが7Rリジョンチェアマンとして出席され御活躍されており、緊張の連続でありました。お陰で何事につけ勉強させて頂き、又多くの方々と知り合うことも出来ました。私にとり貴重な体験と一生忘れぬ一年となりました。

木之本ライオンズクラブにおいても、会長のスローガン「明るいクラブで楽しい例会」のもと、各委員長ライオン、メンバーライオンの御活躍により各事業も達成され、会員同士の友情を深め、社会に喜ばれる奉仕に向かって新入会員の増強も達成されました。各ライオンの御協力の賜ものと感謝申し上げますと共に、幹事に対して御支援と御協力により無事任務を果たすことが出来ますことを厚く御礼申し上げます。次期幹事小高ライオンに引き継ぎさせて頂きます。

最後になりましたが、メンバー各位の御支援とアシスタント内貴さんのお陰と衷心より深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

振り返って

出席 会則 付則委員会
委員長 L 中嶋 博

前年度出席、会則、付則委員会を担当させていただきましたが、光陰矢の如く不言不動のまま、気がつけば貴重な一年を徒に流し、過去先輩諸兄ライオンが凛々とし成長させて来られた、当クラブの歴史を足止めさせる結果となり、種々とご迷惑をおかけし今更申し訳なく存じます。

さて年度当初クラブの円滑な運営、活気あるたのしいクラブ作りの根幹となるものは先ず「第一に例会出席百%」から始まると熟知し取り組みましたが、現実にはままならん問題もあり、全体として今一つと残念ながら低い出席率ではなかったのでしょうか。そのような中で、クラブの活性化が計れたらとの声も聞かされましたが、それらを改善改革するには先ず問題点は一人一人が例会に出席するという個々の自覚が最も必要ではなかったのでしょうか。来年こそ、来年こそはで今年も暮れてとならぬように、新年度こそは皆さんと共に出席率向上にと小さくてもよい継続した努力を積み重ねる事にと、私自身に言い聞かせ反省をしております。尚又、会則、付則も更に改善する余地もあろう中で、充分な検討も出来ぬまま新年度に引き継ぐ事も心苦しく心からお詫び申し上げます。

一年間、各ライオンの皆さん方にはご協力とお力添えをいただきました。又、事務局の内貴様にもいろいろとお世話になりました事に対し、心からお礼を申し上げます。

4名の新入会員スポンサーに感謝

会員指導力育成委員会
委員長 L 脇坂宇市

会員委員会の本年度の最大目標は会員増強であり、又、現有会員の維持に全力で取り組みましたが、早くも一年が過ぎようとしています。この間会員増強には二回に渡りメンバーの皆様にお願いしたところでありますが、最近の経済情勢の悪化の折、会員増強には各委員とも懸念しておりましたが、幸い各スポンサーのご努力により四名の新会員を迎える運びになり、スポンサーに対し心より感謝し厚くお礼申し上げます。

新会員の方々はそれぞれの分野で活躍されており、クラブでも新風を取り入れ奉仕の精神にのっとり活躍されることと確信致しております。皆さんのご指導とご支援をお願いいたします。

当クラブもチャターナイト三十五周年も目前になり、今後も国際協会の目的の一つである友情・親善・相互理解のきずなによってクラブ間の融和をはかる、とあります。新会員を含めメンバー各位の資質の向上に研鑽し、クラブの永遠の発展と飛躍を期待しております。

『明るいクラブ 楽しい例会』を振り返って

保健委員会
委員長 L 中村喜隆

木之本L・Cに入会させていただいてから早くも三年が過ぎ、昨年は保健委員長として各Lの皆様の献血等の御協力を得て、曲がりなりにも務めることができました。御協力ありがとうございました。

L・Cに入会してからは、各Lのメンバーの方々と親しくさせていただいて感謝しております。思い返せば、二十一年前、私がレオクラブのメンバーとして入会した頃には、L・Cのメンバーの方々はその当時の私からするととても立派な方々ばかりで、今、私がL・Cのメンバーとして入会しているのが恥ずかしくなり、又、時の経つ早さを痛感しております。

昨年度は、「明るいクラブ 楽しい例会」の前会長のスローガンのもと、計画委員会の協力でスローガン通りのいろいろな例会の企画が実施され、とても良かったと思います。私も例会には必ず出席するように心がけているのですが、急な用事ができたり仕事で時間通りに行けなかったりで100%出席できなかった訳ですが、今後は、木之本L・Cのメンバーとして、例会に出席することはL・Cの義務と考え、努力して参りたいと思います。

昨年度は、保健委員長として献血の協力をさせて頂いた訳ですが、私はL・Cに入会するまで献血した事がなく、ましてや成分献血については意味も知らなかったくらいです。しかし、L・Cに入ってからは何度か献血をさせていただき、献血の大切さや全献血量のL・Cの占める割合の多さ等、いろいろ学ぶことができました。

私個人としても、今まで奉仕活動をする事が余りなかった訳ですが、今後、L・Cという大きな枠の中で、小さいながらも奉仕の精神を育んでいきたいと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

活動を振り返って

地域社会福祉委員会
委員長 L 速水五郎

社会福祉委員会から、本年の活動報告を申し上げます。

毎年、各町へ順番に介護ベットを一対寄贈させていただいておりましたが、本年高月町では社会福祉協議会が新築移転され、看板がないので欲しいとの事で看板にさせていただきました。来年度は余呉町の番です。伊香郡内には、在宅で寝たきり老人がかなりおられます。木之本町で六十名、高月町六十名、余呉町、西浅井町でそれぞれ四十名、合計二百名にも達します。介護者の方々には、下の世話にお困りと聞き、使い捨て手袋（ビニール製）をお渡しさせていただいたところ、大変喜ばれました。又長浜の丸中商店の社長に趣旨を説明しましたところ御賛同いただき「原価でいいよ」とお引き受けいただき有難うございました。

介護保険法が施行される事になりましたが、充分な介護をする事はなかなか大変な事です。前年に引き続き、春に手話教室を講習させていただきましたが、声なく手話だけだと全く意志が通じません。身近な事から、一つ一つ覚えていきたいと思いました。

福祉福祉と簡単に言えますが実際に携わってみて、御苦労が初めて理解できるのでは。日頃、ご活躍いただいています社会福祉協議会の皆さん、在宅介護に明暗しておられます皆様、どうも有難うございます。体に注意され、ますますのご努力をお願い致します。

中河内地区に産廃処分場計画が進められています

L 浅井悦郎

昨年度は、計画委員会に格段のご協力を賜り、また選挙の際には温かい御声援をいただき、本当にありがとうございました。改めて厚く御礼申し上げます。

さて、現在余呉町の中河内地区で、民間業者により産業廃棄物処分場の建設計画が進められています。管理型の最終処分場とのことであります。

湖北の農業用水の源であり、近畿の水瓶の琵琶湖の最源流の中河内地区に、全国的にも稀な管理型の産廃施設の建設には絶対反対すべきであり、これを許す事は、下流域に生活する我々にとって、自殺行為であると考えます。厚さ3㎜のシートを接着剤で貼りつけ覆ったところで、廃棄物による汚染の可能性は原因物を取り除くまで子々孫々永遠に続きます。

日本全国からの危険なゴミ（産業廃棄物）の山を我々の頭の上に造らせては絶対にいけないと思います。

私達は絶対反対の輪を少しずつ広げています。どうか会員の皆様方のご理解とご協力を賜りまして、反対の輪を少しでも広げて頂きますよう心よりお願い申し上げます。